



グループ通信

発行／ふれディアグループ本部 編集部
〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4
朝霞台駅前ビル8F

全国相談窓口 ☎ 0120-116-017



こんにちは、ふれディア通信編集部です。毎日、うだるような暑さが続いていますね。ですが、暑い暑いと言っているだけでも始まらないので、少しでも夏を楽しみましょう！さて、皆さんは、「夏の一番好きな光景」と言ったら、どんな場面を思い浮かべますか？私は夕陽が水平線に沈んでいくシーンが、真っ先に頭に浮かびました。日中、ギラギラ灼けつくようだった太陽が、紅く染まって空にも海にも溶け込んでいく…、そんなひと時に夏らしさを覚えます。ところで、日が沈む“日の入り”とは、どの瞬間を指すのでしょうか。国立天文台では「太陽の上辺が地平線（または水平線）に一致する時刻」を、日の出・日の入りの時刻と定義しています。ですので、日の入りは、「太陽が地平線に沈みきって見えなくなった瞬間」ということになりますね。経度が1度変わると、日の入りの時間も4分ほど違うそうですので、旅行先では日が暮れるのがいつもより早いとか遅いなど感じることもありますね。また、日の入り前の時間もステキですよ。太陽が傾きはじめ沈み切るまでの時間は、一日の中でも特に美しく、刻々と色や光を変えていく空や海や山や街並みは、いつまでも見ていたい光景です。夕暮れ時の情景を表現するための言葉が数多くあるのも、古来の人々がこの美しい時間に心を奪われてきたからでしょう。「天が紅」という言葉があります。これは、太陽が地平線に沈む際に、空が赤く染まる美しい情景のこと。雲も紅に染まって、まるで空全体が燃えているかのような、雄大でもあり荘厳さも感じるような光景です。「薄暮が時」は昼から夜に変わる、魔物が現れると信じられていた時間のこと。薄暗くなり、現実と幻想が妖しく入り乱れる神秘的な瞬間です。現代のように夜でも明るい時代と違い、闇には底知れない怖さと魅力があったのででしょう。「黄昏時」は、あたりが薄暗くなってくる頃で、わずかに夕焼けの赤色が残っている時間をさす言葉ですが、何となく寂しさも感じさせる言葉ですね。「夕映え」は、夕陽の光を受けて、周囲が美しく輝いて見えることを表す言葉です。きっと明日もステキな一日になりそう！と明るい気持ちになるような、清々しさがあります。今日の夕暮れは、どんな景色になるのでしょうか。時にはゆっくりと、夕暮れ時の情景を味わってみたいものですね。ふれディア通信編集部



平成の重大ニュース プレイバック！

【平成11年（1999年）】には何があった!?



この年は日本の野球界が2人の大型新人に沸いた1年でした。まずは、西武ライオンズに入団した **松坂大輔投手**。当時18歳の松坂投手と25歳のイチロー選手の初対決は、まさに平成の怪物と平成のスーパースターの競演！二人の対戦を一目見ようと多くの人が球場に足を運びました。この年の対戦結果は4打数3三振1四球で松坂投手に軍配が上がりました。また、松坂投手が敗戦した日に発したコメント「リベンジ」がこの年の流行語大賞にも選ばれました。一方、読売ジャイアンツの新人、**上原浩治投手**も、新ヒーローとして注目を集めました。高校時代から注目を浴びて華々しくデビューした松坂投手とは対照的に、甲子園とは無縁で地道な努力を重ねてきた上原投手。彼のそんな姿を表現した「雑草魂」も同年の流行語大賞になりました。



その他のニュース

アイドルグループの「嵐」がデビュー／GLAYが幕張メッセに20万人を動員（国内史上最大）／トルコや台湾で大地震が発生

